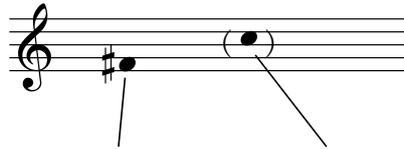


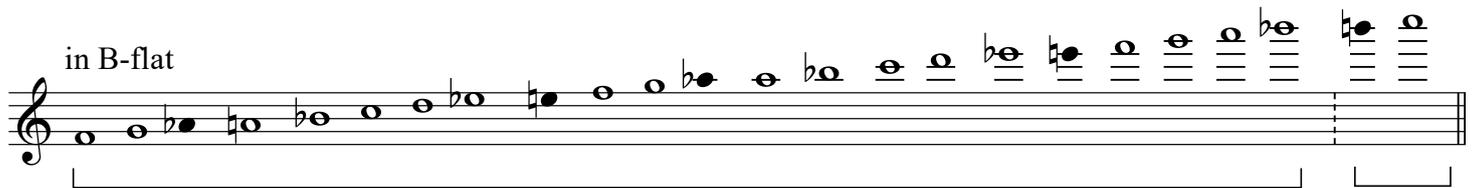
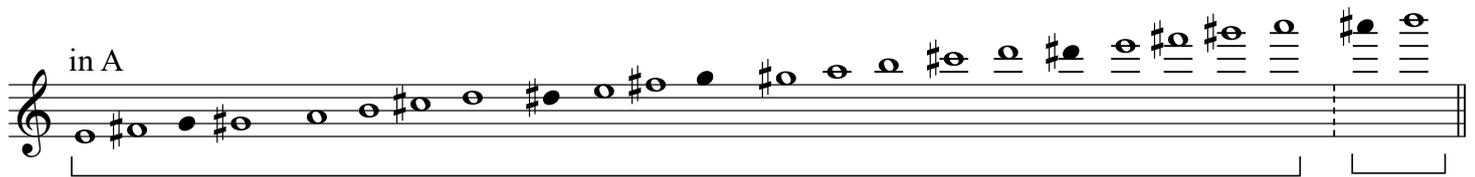
ディーズの音階と音域



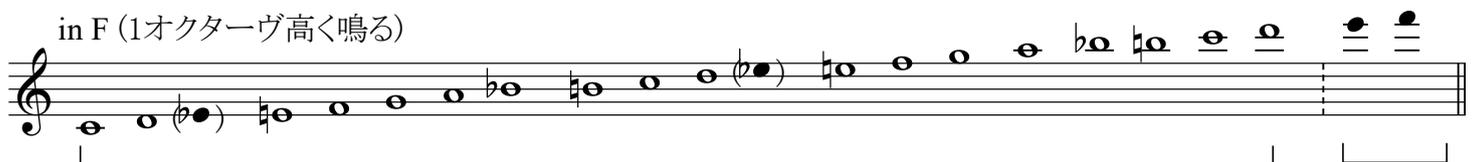
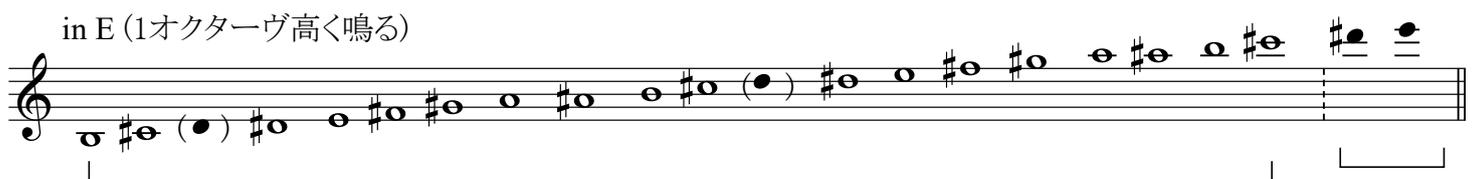
黒い符頭は、その音高が基本音階から外れていることを示す。しかし、楽器にはこの音高のためのトーンホールがある。

括弧に入った黒い符頭は、隣接音とのトリルが実用的ではない音高を示す。

1. 南方のディーズは、2オクターヴ＋完全4度の基本音域を持つ。



2. 北方のディーズは、2オクターヴ＋長2度の基本音域を持つ。



3. 南方のディーズは実音で、北方のディーズは実音より1オクターヴ低く記されている。
 “In G”と付記されている場合でも、その楽器の最低音は実音のDである。
 “In G”という表記は、最低音から5番目の音であるGが、楽器学上で一種の中心音のようなものであることを意味する。
4. トーンホールはキーではなく、指で押さえられるため、「半押し」も一般的に可能である。よって、特定の音高を上げ下げし、上記のものとは異なる音階を生成することも可能である。